

救いはここに (ローマ人の手紙 10 章)
January 21 & 22, 2012

間違った方向へ導かれた熱意

(10 章 1~4 節)

兄弟たちよ。わたしの心の願い、彼らのために神にささげる祈は、彼らが救われることである。わたしは、彼らが神に対して熱心であることはあかしするが、その熱心は深い知識によるものではない。なぜなら、彼らは神の義を知らないで、自分の義を立てようと努め、神の義に従わなかったからである。キリストは、すべて信じる者に義を得させるために、律法の終りとなられたのである。

イスラエルは、彼ら自信の義を立てることに執着していたのです：律法。

「あなたが言葉を述べるときは、義とせられ、あなたがさばきを受けるとき勝利を得るため」と書いてあるとおりである。しかし、もしわたしたちの不義が神の義を明らかにするとしたら、なんと言うべきか。怒りを下す神は、不義であると言うのか（これは人間的な言い方ではある）、断じてそうではない。もしそうであったら神はこの世をどうさばかれるだろうか。（ピリピへの手紙 3 章 4~6 節）

以前ユダヤ教徒であった頃の私の行動は、あなたがたがすでに聞いているところです。私は激しく神の教会を迫害しこれを滅ぼそうとしました。また私は自分と同属で同年輩の多くの者達にくらべ遥かにユダヤ教に進んでおり、先祖からの伝承に人一倍熱心でした。（ガラテヤ人への手紙 1 章 13~14）

救いは、手の届かないところではなく、直ぐそこにあるのです。

(10 章 5-8 節)

モーセは、律法による義を行う人は、その義によって生きる、と書いている。しかし、信仰による義は、こう言っている「あなたは心のうちでだれが天に上るであろうかと言うな」それは、キリストを引き降ろすことである。また「だれが底知れぬ所に下るであろうかと言うな」それは、キリストを死人の中から引き上げることである。では、なんとやっているか。「言葉はあなたの近くにある。あなたの口にあり、心にある」この言葉とは、わたしたちが宣べ伝えている信仰の言葉である。

まことに、私が、今日、あなたに命じるこの命令は、あなたにとって難しすぎるものではなく、遠くかけ離れたものでもない。これは天にあるのではないから「誰が私たちのために天に上り、それを取ってきて、わたしたちに聞かせて行かせようとするのか」といわずとも良い。また、これは海のかなたにあるのではないから、「誰が、わたしたちのために海のかなたに渡り、それをとって来て私たちに聞かせて行かせようとするのか」といわずともよい。まことに、みことばは、あなたのごく身近にあり、あなたの口にあり、あなたの心にあつて、あなたはこれを行うことができる。（申命記 30：11~14）

キリストによつての救いは、ごく身近にある：あなたの口にあり、あなたの心にある！

宗教の綴る救い：行い
キリストの綴る救い：なされた

救いを得るには。(10:9-13)

すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスをよみがえらせたことと信じるなら、あなたは救われる。なぜなら、人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからである。聖書は、「すべて彼を信じる者は、失望に終ることがない」と言っている。ユダヤ人とギリシヤ人との差別はない。同一の主が万民の主であつて、彼を呼び求めるすべての人を豊かに恵んで下さるからである。なぜなら、「主の御名を呼び求める者は、すべて救われる」

- イエスは十字架で死なれ、甦られた、ということを中心から信じなさい。
- あなたの心からの信仰の告白を言葉で表現しなさい。救いは文字通り、祈るだけで、得られることが出来るのです！

誰がこの良い知らせを伝えるのですか？ (10:14-15)

しかし、信じたことのない者を、どうして呼び求めることがあろうか。聞いたことのない者を、どうして信じることがあろうか。宣べ伝える者がいなくては、どうして聞くことがあろうか。つかわれなくては、どうして宣べ伝えることがあろうか。「ああ、麗しいかな、良きおとずれを告げる者の足は」

誰かが伝えずに、どのようにして彼らが聞くことが出来ましようか???

良い知らせを聞き従うことは、人間の責任なのです。(10:16-21)

しかし、すべての人が福音に聞き従ったのではない。イザヤは、「主よ、だれがわたしたちから聞いたことを信じましたか」と言っている。したがって、信仰は聞くことによるのであり、聞くことはキリストの言葉から来るのである。しかしわたしは言う、彼らには聞えなかったのであろうか。否、むしろ「その声は全地にひびきわたり、その言葉は世界のはてにまで及んだ」。なお、わたしは言う、イスラエルは知らなかったのであろうか。まずモーセは言っている、「わたしはあなたがたに、国民でない者に対してねたみを起させ、国民でない者に対してねたみを起させ、怒りをいだかせるであろう」。イザヤも大胆に言っている、「わたしは、わたしを求めない者たちに見いだされ、わたしを尋ねない者に、自分を現した」。そして、イスラエルについては、「わたしは服従せずに反抗する民に、終日わたしの手をさし伸べていた」と言っている。

パウロが言いました。「不従順で反抗する民に対して私は一日中手を差し伸べた。」

キリストの弟子：何があなたの、足を美しくさせないのですか？

キリストの弟子でない者：何が、愛である神の、御腕へと、駆けさせないようにしているのですか？